

今後の検討課題について

1. 超音波探傷法によるコーティング上からのタンク底部溶接部検査に係る検討

(1) 検出すべき欠陥の整理

内部欠陥を含んだ溶接試験片の疲労破壊試験結果を踏まえ、検出すべき欠陥について整理を行う。

(2) 実機による影響調査

実際の屋外タンクの数基について探傷を行い、磁粉探傷試験結果との比較や、塗膜の影響、ノイズの影響、タンクの違いによる影響等について調査し、試験機に必要な性能を検討する。

(3) 性能確認方法のあり方

試験機に必要な性能の確認方法について検討を行う。

(4) 検査結果の評価のあり方

探傷により得られた結果の取扱い、評価方法について検討を行う。

2. 水張検査の合理化に係る検討

(1) 溶接補修の要件

水張りを省略可能とする溶接補修の範囲について検討を行う。

(2) タンクの要件

水張りを省略可能とするタンクの要件について検討を行う。

(3) 破壊力学に基づく欠陥評価方法

欠陥評価の解析条件について検討を行う。